第６８号　進路新聞

はばたき

令和５年２月２２日（水）
福井東特別支援学校

今年度も終わりを迎えようとしていますが、コロナの猛威はなかなか収まりません。それでも、児童生徒たちの人生は何ものも止めることはできませんし、一歩一歩卒業後の夢に向けてはばたく準備をしています。本校の進路指導もコロナには苦しめられましたが、「ウイズコロナ」で工夫しながら進めてまいりました。今年度の卒業生は、最後まで粘り強く実習や就職活動に取り組み、在校生もまた着実に卒業後の自分を描けるようになってきたように思います。今年度の進路指導に関する行事等の記事をお読みいただき、保護者の皆様もお子様と一緒に進路について考える機会にしていただけば幸いです。

◆Ａコース中学部・高等部事業所体験実習◆

１０月下旬、中学部１名と高等部４名の生徒が、福祉事業所で事業所体験実習を行いました。１学期の実習と同様、「これまで利用したことがない事業所を見学・体験する」「卒業後の生活支援の基盤となる事業所や、今の生活をもう少し充実・改善できる事業所を見つける」などを目的に、それぞれが保護者同伴のもと、１～２か所の事業所での実習に参加しました。体験した実習先は、こども療育センターオアシス、げんきの家、総合福祉支援事業所わかたけ、光道園たねの家です。既に何度か体験している生徒、今回が初めての実習になる生徒、初めての事業所で実習する生徒など、生徒たちの体験の度合いは様々でしたが、どの生徒たちや保護者の方にとっても、新しい体験をしたり新しいことを知ったりする機会となりました。

【事業所スタッフへのアンケートから】

・体調管理や食事・排泄等、日常生活動作の様子について実習中に見学させていただけるので、事業所側としても参考になります。

・実習では、事業所職員と生徒さんとの関わりの時間（移乗や食事介護も含む）も検討していただけると良いと思います。また、実習前後の打ち合わせや反省会をとおして互いの情報や考えを共有することで、よりスムーズな受け入れができると思います。

【保護者へのアンケートから】

・事業所内での活動や雰囲気が感じられました。また、職員の方の利用者への対応や声掛けなどの様子をよく見ることができました。

・体験した２か所の事業所の内、１か所では入浴サービスを体験することができて良かったです。もう１か所での体験はできませんでしたが、機械浴が整備されていることが分かって良かったです。

◆病肢中学部２・３年職場見学・体験実習◆

今年度は、２年生１名が「奥越高原牧場」、３年生１名が「ハーツ志比口店」、３年生２名が「社会福祉法人つぐみ福祉会　丸岡南中事業所」、３年生１名が「あさひ愛農園」で職場見学・体験実習を行いました。

「奥越高原牧場」では、牧場長さんの説明を聞きながら牧場を見学し、牧草や牛に触れたり餌やり等を体験したりすることで、大好きな動物にかかわる仕事にますます興味をもったようです。「ハーツ志比口店」では、商品の陳列や賞味期限の点検作業を体験しました。事前に高等部の生徒が実習している様子を見学していたので、当日は緊張しながらも大きな不安はなく活動することができました。また、お店の方から褒められたことは自信にも繋がったようです。「社会福祉法人つぐみ福祉会　丸岡南中事業所」では、８００食以上の給食調理の様子を見学したり、知りたいことを質問したりしました。帰校後には、見聞きしたことを目を輝かせて友達や教師に話す姿が見られました。「あさひ愛農園」では、麹や米の袋詰め、プリンの蓋付けやラベル貼り、ドーナツ作り等を体験しました。たくさんのお褒めの言葉をいただき、充実感や達成感を得ることができました。

実習にあたっては、事前学習で質問事項を考えたり下見に行ったり、事後学習でポスター発表をしたり礼状を書いたりする等、見学・体験実習前後の学習にも意欲的に取り組んでいました。働くことや卒業後の進路について考える、よい機会になったのではないかと思います。

◆病肢高等部秋の産業現場等における実習◆

感染症予防をしながら、企業や事業所の御理解、御協力のもと、実習を実施することができました。各学年で実習の目的は違いますが、自分の良さや課題に気付いたと思います。貴重な実習経験を自分のものにし、今後の生活に活かしてくれるものと思います。

《１年生》　初めての外部実習で、一般企業や事業所に行き実習を行いました。社会と学校の違い、仕事をする上で大事なことなどに気付きました。今回の経験を活かし、保護者の方や先生と相談して次の実習先を考えていきましょう。

《２年生》　今後の進路先を意識した実習になりました。挨拶･報告･連絡･相談をはじめとするコミュニケーションの大切さや、時間を守る事など、働く上で大事なことを改めて実感しました。自分の課題は何かを振り返り、今後の学校生活で取り組んでいきましょう。

《３年生》いよいよ進路先を決定するための実習でした。４月からの生活や仕事をイメージしながら実習に臨んだ人もいましたし、自分に合っている環境や仕事内容を確かめるために複数の実習先に行った人もいました。その結果、それぞれの将来像が見えてきました！

実習先
見学先

《一般企業》　ハーツ志比口、しまむら、愛育病院、カツクラ、佐川急便、福井鉄螺、SHINDO、ハローワーク三国、ウッドラボ池田、国際交流会館

《福祉事業所》　足羽サポートセンター、足羽ワークセンター、松本ファクトリー、前進主義ふくい、タクティクス（福井南、福井西）、永平寺あぐりの家、ウォレスジョブトレ、ぱすてる、ＦＬＡＰ、ワークハウスエビス、プラス、ふくい福祉振興会 TONARI、ネクストステップ、エイティーンス電子工業、コムサポートプロジェクト、光道園 朝日事業所、Ｏｍｕｓｕｂｉ

～１年生～

報告が難しかったが、丁寧に作業できた。他の仕事も経験してみたい。

３日間休まずに行けたので達成感があった。次の実習では、大きな声で喋ることができるようにしたい。

コミュニケーション面が課題だと分かった。これからどうしたらいいか考えていきたい。

～２年生～

欠席した日もあったが、あれはいけないことだと思った。今後の学校生活でがんばりたい。

～３年生～

前回の実習よりも、多くの人と関わることができた。今後さらにコミュニケーション能力を高めたい。

実習に３週間休まずに行けたところに、自分の成長を感じる。仕事中の気分転換の方法も身につけられたし、仕事のコツをつかむのも早くなった。

◆夢かなタイム◆

病肢高等部では今年度から、卒業までに生徒たちが「自ら学び、考え、行動する力」を身につけ、将来の進路を実現していくこと支援するため、学年ごとに自立活動の時間に「夢かなタイム」という学習に取り組んでいます。

この学習では、身につけたい４つの力（①人間形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）をさらに伸ばしたり、学校生活を見通したり、振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていくことを目標としています。

授業や学校行事などでのさまざまな体験や学びを通して、これらの力をさらに成長させてもらいたいと願っています。

◆高等部の今年度卒業生の進路先◆

〇福祉的就労（就労継続支援Ａ型・Ｂ型事業所）４名　　〇福祉施設入所　２名